

原料費調整制度に基づく2023年5月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：内田 高史、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2023年5月検針分の単位料金を調整した結果、2023年4月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき4.55円(消費税込)下方に調整いたします。

なお、2023年2月検針分より、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」*1にて支援される補助金により、30円/m³の値引きを行っております。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2023年4月検針分と比較して、137円(消費税込)ガス料金が下がります。なお、経済産業省の補助金適用前との比較では、900円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2023年5月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

*1 詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月の ご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	175.98	161.13	158.93	155.63	146.83	139.13
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³)	205.98	191.13	188.93	185.63	176.83	169.13
(参考) 4月 調整単位料金	180.53	165.68	163.48	160.18	151.38	143.68

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	(消費税込)		
	2023年4月*2	2023年5月*2	増減
	6,026	5,889	▲137

【参考】補助金適用前

2023年5月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,789	900

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

*2 補助金適用により、30円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年11月～2023年1月の平均 (4月検針分)	2022年12月～2023年2月の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	130,450	125,400	▲ 5,050
LNG	132,510	127,260	▲ 5,250
LPG	88,680	87,280	▲ 1,400
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	73,200	68,100	▲ 5,100

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \frac{127,260}{87,280} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \frac{87,280}{87,280} \times 0.0546 \end{aligned}$$

125,395.24

↓(100円未満四捨五入)

125,400 円/t

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 125,400 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} &= 68,150 \text{ 円/t} \\ &\downarrow(100円未満切捨て) \\ &68,100 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \frac{68,100 \text{ 円}}{100 \text{ 円} \times 0.0891} \text{ *3} \\ &= 60.67 \text{ 円} \text{ *4} \end{aligned}$$

*3 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = 60.67 \text{ 円} - 30 \text{ 円} = 30.67 \text{ 円}$$

(補助金適用後)

<標準家庭における影響>

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2023年 4月*2	2023年 5月*2	増減 (消費税込)
適用料金(円/月)	6,026	5,889	▲ 137

【参考】補助金適用前

2023年 5月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,789	900

・標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \frac{30.67 \text{ 円}}{\uparrow \text{単位料金調整額(税込)}} \times 30 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。